

令和2年11月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議席 番号	氏名	諏訪部 孝 敏 議 員	1 / 1
発言項目		要 旨		答弁者
1		認知症施策の現状と 高齢者の支援について	<p>令和元年6月に認知症対策を強化するため、国において「認知症施策推進大綱」が取りまとめられた。2025年には65歳以上の約5人に1人（約700万人）が認知症になると推計される中、認知症施策の強化は待ったなしの最重要課題である。富士宮市で安心して暮らせる老後のために地域づくりなど認知症患者を支える当市の今後の本格的な取組について伺う。</p> <p>(1) 富士宮市の高齢者の一人暮らしの現状を伺う。</p> <p>(2) 介護認定を受けている方の中で認知症と診断されている方はどのくらいいるか伺う。</p> <p>(3) 認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）に伴う当市の取組について伺う。</p> <p>(4) 認知症サポーターの現状と取組状況について伺う。</p> <p>(5) 富士宮市見守りSOSネットワーク事業の取組状況について伺う。</p> <p>(6) 認知症になっても安心して暮らせるまちを目指し、民間保険を使った自己救済制度を導入する自治体が増えているが、個人賠償責任保険制度の導入について、市の考えを伺う。</p> <p>(7) 高齢者のごみ出し支援について伺う。</p>	市 長 関係部長
2		外国人労働者の受入れについて	<p>少子高齢化に伴う生産人口の減少を背景に、介護をはじめ建設製造の現場など市内事業所の人材不足は深刻な状況にある。海外の意欲ある人材の受入れを促進することは、市内の人材を確保し、地域経済の活力を高める点からも以下を伺う。</p> <p>(1) 市内の外国人労働者数と、その国籍別、産業別の割合について。</p> <p>(2) 技能実習法及び改正入管法をどう捉えているか。</p> <p>(3) 文化や習慣の違う外国人住民との関わりについて。</p> <p>(4) 災害時の情報伝達や安否確認の問題など現状の取組について。</p> <p>(5) 当市における外国人児童生徒に対してのサポート体制について。</p> <p>(6) 外国人労働者の環境変化に対応した多文化共生に取り組む施策について。</p>	市 長 関係部長
3		ICTを活用した行政 改革について	<p>AIを活用した業務効率化や、普及が進むスマートフォンを活用して市内の道路状況や災害時等に通報するシステムなど、市民と行政が双方向でICTを活用し、地域で困った課題に取り組むまちづくりについて、当市の見解を伺う。</p> <p>(1) スマートフォンアプリを活用した先進事例の調査を含め、導入について提案するが、当市の見解を伺う。</p> <p>(2) 市民と行政の協働の取組のきっかけとなると考えるが、市長のお考えを改めて伺う。</p>	市 長 関係部長